

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	諏訪森神野線(延伸)				シート番号	019-044
担当部署名	建設	局	道路	部	道路計画	課 評価責任者(課長名) 柿本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	有
	2	事業開始年度	平成 4 年度		終了(予定)年度	令和 2 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	都市計画法、道路法			
	4	関連計画	堺市都市計画道路整備プログラム、堺市都市計画マスタープラン、堺市地域防災計画、震災に強いまちづくり基本計画、堺市緑の基本計画			
5	事業実施の経緯	当該地域はJR阪和線により分断され、地域間を結ぶ道路は狭隘で慢性的な交通渋滞を誘発している。また、鉄道交差部の有効高さも不十分なため、緊急車両の通行にも支障をきたしている。さらに、周辺の生活道路に通過交通が流入し、歩行者の安全確保が困難となっており、早期の整備が必要である。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	道路利用者・災害時における避難者・被災者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	慢性的な交通渋滞の要因である鉄道交差部の構造を改善し、幹線道路と接続することで、円滑な交通の確保を行う。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	都市計画決定: 昭和21年5月22日 事業認可: 平成4年5月29日～令和3年3月31日 事業区間: 西区宮下町～西区神野町 路線延長: L=1,050m(約500mは供用済) 道路幅員: W=18m 車線数: 2車線 JR立体交差 1箇所 令和元年度は、立体交差工事と併せて道路排水施設設置工事を実施。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 西日本旅客鉄道株式会社、工事の受注者				

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	806,245	405,011	1,359,345	643,297	1,640,690	818,736	676,440
	工事費	千円	85,000	72,821	84,635	56,776	106,400	15,147	190,400
	用地費	千円	60,000	125,797	3,365	2,328	78,550	14,800	11,500
	委託費他	千円	661,245	206,393	1,271,345	584,193	1,455,740	788,789	474,540
	国・府支出金	千円	368,500	121,000	708,685	330,560	861,272	439,010	336,242
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円	394,800	245,000	566,800	276,400	699,500	337,700	302,300
12	人件費 (b)	千円	10,946	13,406	9,306	9,046	11,156	8,726	8,571
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	817,191	418,417	1,368,651	652,343	1,651,846	827,462	685,011

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	諏訪森神野線(延伸)	シート番号	019-044
-------	------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績				
活動実績と成果	14	<p>平成4年度から着手している諏訪森神野線事業について、令和元年度は立体交差工事と併せて道路排水施設設置工事を実施。</p> <p>[事業進捗]                      (工事進捗状況)                      ○JR立体交差工事、道路排水施設工事の実施。                      (用地取得状況)                      ・用地取得率: 100%</p>				
	15	定性的な目標				
	15	道路工事の実施				
	16	目標に対する実績	道路築造工事を実施し、令和2年度に事業完了予定。			
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		目標値				
		実績値				
		達成率				
		評価				

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		<p>○本事業は平成4年度～令和2年度に掛けて推進しており、工事延長L=1,050m、幅員W=18m区間の用地取得をはじめ一部区間においてはJR阪和線高架下の道路を拡幅するなど大規模な道路事業である。長期にわたり地権者、地元、鉄道事業者並びに関係機関等との協議調整を鋭意行っており、令和元年度は供用開始に向けた道路工事を予定通り実施することができた。これら過年度からの実績もあり令和2年度の全線供用開始に至ることになる。</p>

- 【分析のチェックポイント】**

  - 事業の達成度はどうでしたか。
  - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
  - 資源投入は適切でしたか。
  - 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
  - 有効性は高いですか。低いですか。
  - 効率性は向上していますか。
  - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
  - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	諏訪森神野線(延伸)	シート番号	019-044
-------	------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。また、本路線は事業に着手しており、都市計画道路整備プログラムにおいて引き続き事業を推進する路線の一つとして位置付けられており、令和2年度に事業の完了を予定している。本事業は市域全体の結びつきや広域的な連携を強化することで、道路ネットワークを通して市域全体の活性化を図ることができ、事業が終盤を迎える現時点での廃止は不可能である。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。また、本路線は事業に着手しており、都市計画道路整備プログラムにおいて引き続き事業を推進する路線の一つとして位置付けられており、令和2年度に事業の完了を予定している。本事業は市域全体の結びつきや広域的な連携を強化することで、道路ネットワークを通して市域全体の活性化を図ることができ、事業が終盤を迎える現時点での廃止は不可能である。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。また、本路線は事業に着手しており、都市計画道路整備プログラムにおいて引き続き事業を推進する路線の一つとして位置付けられており、令和2年度に事業の完了を予定している。本事業は市域全体の結びつきや広域的な連携を強化することで、道路ネットワークを通して市域全体の活性化を図ることができ、事業が終盤を迎える現時点での廃止は不可能である。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 都市計画道路は、都市施設として都市計画決定されている幹線道路ネットワークを形成するものである。また都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的としているため、その整備は不可欠である。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部署等との適切な連携・役割分担 関係部署名 (自転車環境整備課) 関連事業名 (自転車通行環境整備事業) ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他( )	<b>理由・説明</b> ③他都と密に連携し、自転車レーン整備のタイミングにあわせることで経費の節減を図っている。 ④財源に国交省からの交付金を充当している。 ⑤都市計画道路整備プログラムに基づき整備しており、サービス水準は同程度である。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		<b>所見</b> 令和2年度に事業完了を予定している。来年度以降は本線及び周辺道路の安全対策工事の追加が見込まれるが全体事業費としては縮小傾向になる。		